

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成31年2月22日
学校名	山梨大学教育学部附属特別支援学校
PTA会長名	丸山 えみ

実施概要	実施活動名	きりの子マルシェ・きりの子バザール
	実施日時	平成30年10月17日(水)・平成31年2月7日(木)
	実施場所	山梨大学構内・本校体育館
	実施目的	<ul style="list-style-type: none"> ・製品販売やバザールを通して、支え合いや共生の精神を学ぶとともに、自立と社会参加への意欲を高める。 ・地域の方々との交流活動を通して、本校への理解を深めてもらう。
	実施内容	<p>きりの子マルシェ：本校高等部生徒による作業学習製品販売</p> <p>きりの子バザール：本校中学部、高等部生徒による作業学習製品販売・福祉施設からの出店販売・PTAバザール・きりの子バザール実行委員会設置・実行委員会による企画および運営</p>
	実施方法	<p>中・高等部の作業学習の製品販売会とPTAバザールを共催し、そこに県内の福祉施設の出店を合わせて行う。学校周辺への開催ポスターの掲示、交流先の学校や団体への案内状送付、バザールに先駆けた大学構内での高等部作業学習製品販売会などにより、多くの方々に広く本校の教育活動を知らせ、理解していただく機会とする。</p>
参加人数	<p>きりの子マルシェ：高等部生徒23名、高等部教師11名、山梨大学学生、職員約80名、保護者約20名</p> <p>きりの子バザール：全児童生徒49名、全教師40名、保護者約80名、福祉施設の方々約50名</p> <p>交流先の学校や学校近隣の方々約80名</p>	

告事項	内容	<p>きりの子マルシェでは、高等部の作業製品の販売を行った。大学や近隣への事前の案内状の送付により、当日は多くの方々にいらしていただいた。今年度、初めての試みであったが、本校の教育活動を知らせ、理解につながる機会となった。きりの子バザールでは、中学部及び高等部の作業学習の製品販売会とPTAバザールを共催し、そこに県内の福祉施設の出店を合わせて行った。開催ポスターを作成して学校周辺に掲示したり、交流先の学校や団体などに案内状を送ったりして、多くの方々に本校の教育活動を知らせ、理解していただく機会となるよう取り組んだ。今年度、高等部、中学部ともに新製品の販売に取り組んだことも好評を得た。</p>
	結果	<p>地域の方々に本校の学習活動について知っていただく機会としてのきりの子マルシェ、きりの子バザールとなった。中学部及び高等部の作業学習作業班の製品を販売することで、作業製品を作るだけでなく、値段付けや袋詰め、看板作り、販売・接客練習、などの活動を通して開店準備を進めてきたので、販売会では積極的に活躍する生徒の姿が見られ、児童生徒の成長を感じることもできるものとなった。また、きりの子マルシェ、きりの子バザール実行委員会を組織して活動することで、生徒が中心となって当日の運営を行ったり、開催ポスターを作成して地域の方々への宣伝活動を行ったりすることができ、より主体的な取り組みにつなげることができた。</p> <p>販売会当日は、大勢の方々にご来場いただき、大盛況であった。製品販売やバザールを通して、保護者をはじめ施設や地域の方々、交流校の生徒とも、より交流を深めることができ、参加されたの方々からは、活動や製品に対するあたたかな感想をいただいた。</p> <p>来年度も実施の継続をしていきたい。</p>
	所感	<p>マルシェ、バザールともに新聞社の取材をいただき、発信された。広く本校の児童生徒の様子や学習活動について知っていただけたことは、生徒理解という面から大変有意義な機会であったと言える。中学部・高等部の生徒たちにとっても、好評を得られたことで、達成感や自信へとつながっていくことができた。1年間の学習の成果を校内外の方に知っていただき貴重な発表の場であった。</p>

添付書類





カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成31年2月22日
学校名	山梨大学教育学部附属特別支援学校
学年	中・高等部全学年

○中学部生徒の感想

- ・今日は高等部の人達が製品を買いに来てくれました。新製品を気に入ってくれてうれしかったです。
- ・今日はきりの子バザールをしました。電卓を使いました。お金を入れました。がんばりました。
- ・今日はきりの子バザールがありました。呼び込み係で製品のよさなど説明しました。お客さんが新製品など気に入ってくれてうれしかったです。
- ・今日はきりの子バザールをしました。バザール実行委員としてみんなの前に出てあいさつをしました。
- ・今日はきりの子バザールで販売をしました。会計をがんばりました。お皿を買いました。

○高等部生徒の感想

- ・緊張したけれど、笑顔で呼び込みをがんばりました。たくさん製品が売れて嬉しかったです。
- ・きりの子マルシェでポチ袋とレターセットを売りました。製品紹介をていねいにしました。
- ・きりの子バザールで製品の袋詰めをがんばりました。ていねいにできました。
- ・緊張しましたが、笑顔で、元気に呼び込みができました。
- ・自分が織った製品を紹介しました。買ってもらえてうれしかったです。
- ・たくさん売れてうれしかったです。
- ・笑顔でがんばりました。
- ・みんなと協力できてうれしかったです。
- ・たくさんお客さんが来てくれました。大成功でした。
- ・自分の作った製品を喜んでもらえてうれしかったです。

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成31年2月22日
学校名	山梨大学教育学部附属特別支援学校

○保護者等の感想

- ・きりの子マルシェでは、生徒の元気な声が購買意欲を誘っていた。
- ・商品の説明を生徒がしていて、すばらしかった。
- ・生徒達だけで自主的に取り組む様子が多く見られて、成長を感じた。
- ・売り込み、会計、袋詰めなど全て自分達でやっていて親もうれしかった。
- ・クラフト・リサイクル班のエプロンがよかった。
- ・製品が、毎年よくなっている。保護者も製品仕上げのボランティアで協力し、きりの子バザールが盛り上がった。
- ・3年は、毎年の積み重ねでお金の計算や製品の包装などに向上が見られた。
- ・今年是一段と多くの地域の方々に来ていただき、ありがたかった。
- ・落ち着いて参加できていて、成長を感じられました。
- ・とても楽しそうに活動していました。ありがとうございます。ポチ袋、レターセットも柄がとてもステキでした。
- ・とても嬉しかったようです。自分の製品が売れて喜んでいました。
- ・どの製品も工夫してあり楽しく巡ることができました。
- ・地域の方や卒業生、など多くの方が楽しみにしてくれています。来年度の入学予定の子どもさんやご家族も来てくれました。
- ・広く本校を知っていただく貴重な機会ですので、是非今後も続けていって欲しい行事です。
- ・以前は一人一人が仕上げた製品でしたが、現在は分業制のため、製品の質を上げるために自分の仕事に責任をもってやるようになったことがとてもよいと思います。高等部進学や社会に出ることを考えると必要なことだと思います。
- ・家でも大きな声で「いらっしやいませ」と言って張り切っていました。子どもの働きぶりを楽しみにしていました。会場では声が小さめでしたが、会計係をがんばっていました。
- ・きりの子バザールでは疲れた様子もありましたが、充実感をもてたようです。
- ・他校の友達や祖父母にも声をかけてとても楽しみにしていました。
- ・知っている人もたくさん来てくれて、実行委員としてもがんばり、とても楽しい一日と なったようです。頼もしい我が子を見て、うれしく思いました。
- ・家で、がんばるぞ、オー！のスタイルで力強くグーの手を挙げて「きりの子バザール行きます！」と言っていました。意欲的に活動できてよかったです。